

## 公募審査（採択）結果の公表

経済産業省資源エネルギー庁  
資源・燃料部石油精製備蓄課

事業名：令和3年度補正予算「非化石エネルギー等導入促進対策費補助金（コンビナートの水素、燃料アンモニア等供給拠点化に向けた支援事業）」

（採択事業者）

事業者名	法人番号	提案価格
石油供給構造高度化事業コンソーシアム		6,925,000,000

（提案事業者名）

- ①一般社団法人石油エネルギー技術センター
  - ②一般社団法人コンビナート連携推進機構
  - ③株式会社日本能率協会総合研究所
  - ④石油供給構造高度化事業コンソーシアム
- ※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は対応していない

（審査委員属性）

- 大学教授  
大学教授  
金融機関職員
- ※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

（採点結果）

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	平均
石油供給構造高度化事業コンソーシアム	90	88	80	86.0
XXX	66	62	80	69.3
YYY	80	48	58	62.0
ZZZ	76	—	36	56.0

提案事業者名	提案書の記載内容	事業実施方法・計画	事業内容	事業実施体制	合計
石油供給構造高度化事業コンソーシアム	適	34.0	26.0	26.0	86.0
XXX	適	28.7	22.7	18.0	69.3
YYY	適	22.0	19.3	20.7	62.0
ZZZ	適	26.0	13.0	17.0	56.0

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
石油供給構造高度化事業コンソーシアム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンビナートにおける産業間連携での事業実績がある上、実施計画、予算内容とも十分効率的な提案と言える。</li> <li>●一方、体制面については、コンソーシアムである点に少々懸念あり。</li> </ul>
XXX	<ul style="list-style-type: none"> <li>●申請書は適切に記載されている。</li> <li>●一方、カーボンニュートラルに向けたコンビナートでの産業間連携の推進など、本補助事業に対する理解が薄い印象を受けた。また、実施体制がやや過剰であり、業務管理費は上限に達している。効率的な運営のためにはコスト削減努力が必要ではないか。</li> </ul>
YYY	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カーボンニュートラルに向けたコンビナートでの産業間連携の推進など、本補助事業の目的に対する理解は認められる。</li> <li>●一方、設立間もない事業者であり、団体としての知見の有無が不明。また、実施体制やスケジュールに不十分な部分があり、審査委員会等の情報がわからなかった。</li> </ul>
ZZZ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カーボンニュートラルに向けたコンビナートでの産業間連携の推進など、本補助事業の目的に対する理解は認められる。</li> <li>●一方、審査に関する具体性に欠ける（基準、書類、委員構成等）。また、人件費を中心に業務管理費が嵩み、コストパフォーマンスが悪い。</li> </ul>